

第96期 営業のご報告

2019年4月1日から2020年3月31日まで

ミニディスクロージャー誌



当行キャラクター
チカッパ

地域を興し、ともに成長・発展する銀行



つづら棚田 (うきは市)



あなたのまちの

筑邦銀行

目次

ごあいさつ	1
経営方針	2
SBIグループとの 戦略的資本業務提携	3
フィンテックへの取組み	5
ちくぎんトピックス	7
ダイバーシティへの取組み	9
CSRへの取組み	11
お客さまへの大切なお知らせ	13
役員／株式について	14
業績ハイライト	15
財務のご報告(単体)	18

筑邦銀行のプロフィール

設立	昭和27年12月23日
総資産	7,748億円
預金・譲渡性預金	7,055億円
貸出金	5,065億円
資本金	80億円
株主数	2,748名
従業員数	538名
店舗数	44か店 ^(注)

(注) 店舗内店舗形式は9か店
2020年3月31日現在

ごあいさつ

「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

昨年度のわが国経済は、政府の経済対策などから企業収益は底堅い動きを示し、雇用情勢も改善するなど緩やかな回復が続いていましたが、年度末にかけ新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、景気が大幅に下押しされ厳しい状況となりました。また、海外経済も米国、中国および欧州などで軒並み経済活動が抑制され急速に景気が減速、先行きへの警戒感が強まりました。

当行の営業基盤である福岡県内の経済も、全体的には緩やかな拡大基調にありましたが、年度末にかけ急速にスローダウンし、海外景気の下振れリスクも増大したことなどから、厳しい見方が広がりました。

新型コロナウイルス感染症による地域経済、社会への打撃は極めて厳しいものとなっております。その影響は宿泊業、飲食業をはじめとしてあらゆる業種に及んでおります。この危機を乗り越えるべく、地銀としてできる限りのご支援をいたす所存であり、緊急融資については既に積極的な対応を実施済みです。今回の感染症との戦いは長期戦が想定されております。当行はお客さまと職員の健康・安全を最優先に感染拡大防止に取り組むとともに、お客さまの資金決済、事業資金やローンのお借入や返済に関するご支援など、あらゆるご相談に応じながら金融サービスの提供を続けてまいります。

こうした環境下、地銀自体もビジネスモデルの転換を余儀なくされております。本年1月には、先進的な技術や専門的な知見を有する企業等とのアライアンス強化により新たなビジネスモデルを構築せんと、インターネット金融大手のSBIホールディングスと資本業務提携をいたしました。

当行が2018年4月にスタートさせた「中期経営計画2018」(計画期間2018年4月～2021年3月)は2020年度が最終年度となります。本計画では、前中期経営計画で掲げてきた「地域を興し、ともに成長・発展する銀行」というスローガンを継承し、その実現のための基本方針を「お客さま本位の徹底」、「地域創生への貢献」、「強靱な経営基盤の構築」としています。

当行は今後も、お客さまのお取引満足度の向上に努めるとともに、地銀そのものが地方の有力な金融サービス産業であるとの認識の下、堅実経営を遵守し、地域創生と地域経済の活性化に尽力してまいります。

2020年6月

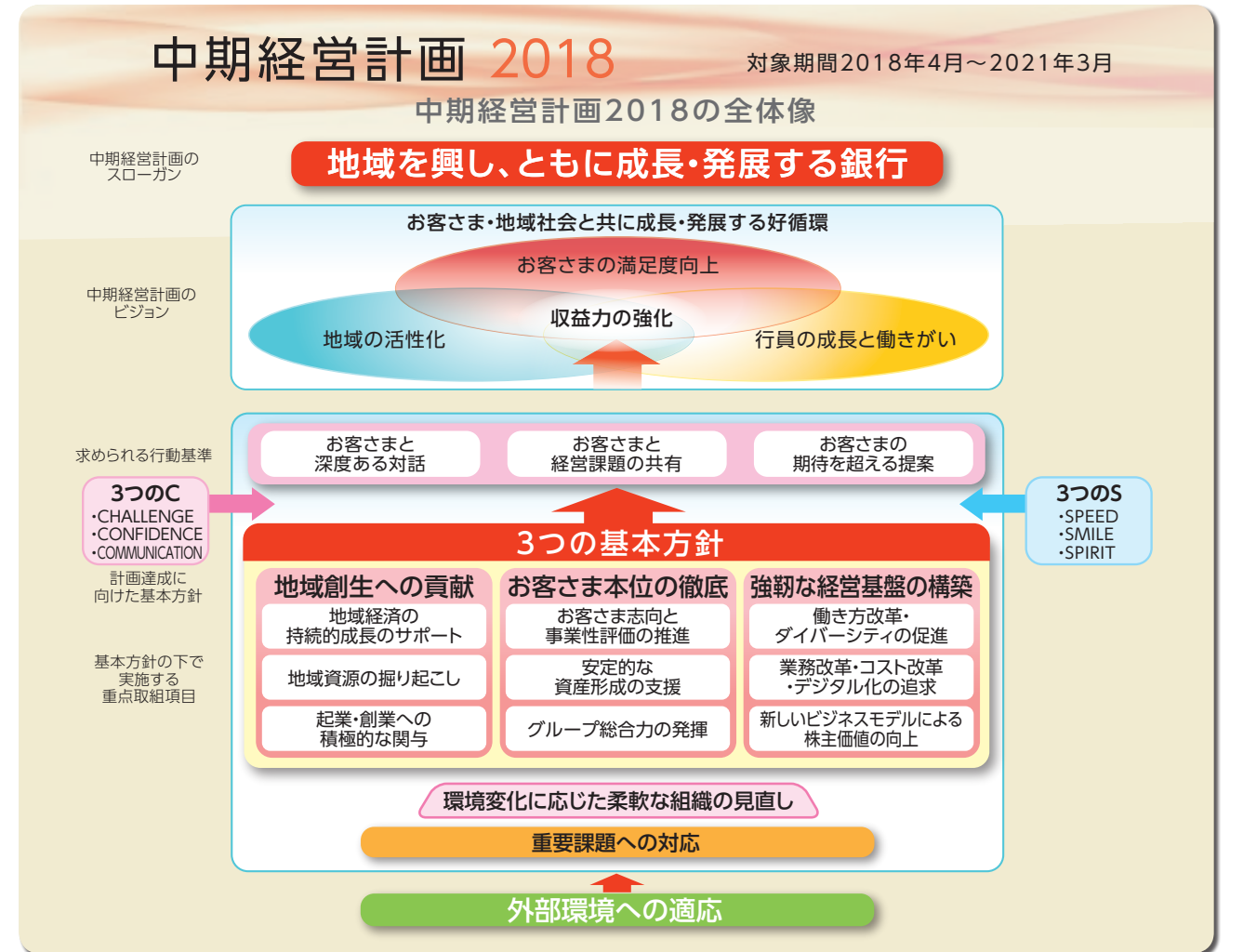
頭 取 佐藤 清一郎



経営方針

基本理念「地域社会へのご奉仕」

当行は、昭和27年の創立以来、一貫して「地域社会へのご奉仕」という基本理念のもと、地元のお役に立つことが何にもまして重要な社会的使命と考え、地域の発展とともに今日の基盤を築いてまいりました。今後も地元の銀行として、この経営方針を堅持してまいります。



インターネット金融最大手 SBIグループとの戦略的資本 業務提携（2020年1月）

当行はSBIホールディングス株式会社との間で、戦略的パートナーシップを結ぶ資本業務提携に関する契約を締結いたしました。

これにより当行は「地域金融機関との共創による、地域社会の活性化を通じた地方創生への貢献」を社会的使命の一つとして掲げるSBIグループとの連携を、より一層強化いたします。

当行は戦略的パートナーとしてSBIグループとの関係性をより強固なものとする中で、SBIグループが持つあらゆるテクノロジーやノウハウを積極的に取り入れ、当行自身のコスト削減や資金運用の高度化を実現するとともに、お客さまの多様化・高度化するニーズに応えられる質の高いサービスをご提供し、更なる地方創生と地域経済の活性化の深化に取り組んでまいります。



2020年1月17日（金）、本店3階大ホールにおいての記者発表

当行とSBIグループとの主な協業状況

デジタルイゼーション

- ちくぎんアプリ（口座開設等）の開発、リリース（2018年8月）
- 口座開設不正防止ソフト、WEBマーケティングの広告代理店、メール配信システム等の紹介（2018年8月）
- 当行タブレットへのモーニングスター社の投信販売支援ツールの導入（2018年10月）
- 九州電力株式会社と協業の下、SBIの基盤を使った地域通貨の検討（2018年10月～）
—2019年8月に宗像国際環境会議へ、地域通貨（常若通貨）を提供
- RPA導入に向けたベンダーと導入方法の提案（2018年10月から試験導入）
- API基盤として、SBI FinTech Incubation社が提供するオープンAPI基盤の採用を決定（2018年12月）
- 株式会社ちくぎんテクノシステムズ、株式会社テクノ・カルチャー・システムとSBIビジネス・ソリューションズ株式会社が業務提携し、稟議・回覧システムの「承認Time」を提供開始（2020年3月）▶P6



新たな商品・サービス

- 株式会社SBI証券との金融商品仲介業サービス開始（2017年10月）
- SBIマネープラザ株式会社との共同店舗の開設（筑邦銀行SBIマネープラザ久留米、2018年6月）
- 投信ラインナップに「SBI地方創生・世界高配当株式ファンド」を追加（2018年12月）
- つみたてNISAラインナップに「SBIインデックスファンド（愛称：雪だるま）」を追加（2019年2月）
- SBI損害保険株式会社のWEB完結型がん保険の取扱開始（2020年3月）▶P7
- SBI レミット株式会社の国際送金サービス紹介業務の取扱開始（2020年4月）▶P8
- SBIマネープラザ株式会社との共同店舗の開設（筑邦銀行SBIマネープラザ福岡、2020年4月）▶P8



出資

- SBI AI& ブロックチェーンファンドへの出資（2018年1月）
- SBI地方創生アセットマネジメント株式会社への出資（2018年4月）
- マネータップ株式会社（ブロックチェーンを活用した送金サービス「Money Tap」を運営）への出資（2019年8月）



ビジネスマッチング

- 株式会社トランビ（M&A関連）とのビジネスマッチング契約（2019年5月）
- 株式会社ちくぎんテクノシステムズとBASE株式会社（ECサイト支援関連）とのビジネスマッチング契約（2019年5月）
- アスタミューゼ株式会社（理系専門人材の紹介）とのビジネスマッチング契約（2019年12月）▶P7



フィンテックへの取り組み



好評配信中! ちくぎんアプリ



「ちくぎんアプリ」は、地域金融機関等へ新技術の導入を支援するSBIネオファイナンス株式会社より提供を受けており、SBI FinTech Incubation株式会社が提供するAPI接続支援サービス「フィンテックプラットフォーム」と接続することで実現しております。

当行は今後も、お客さまの多様なニーズにお応えし、よりご満足いただける新しい金融サービスの提供に努めてまいります。

より便利になりました！

バージョンアップを行い以下の機能を追加いたしました。(2020年1月)

残高照会

入出金明細照会

これにより、ログインするとすぐに口座残高が確認できるようになったほか、期間を指定して入出金明細を確認することができるようになりました。



もっと多くの人にキャッシュレスを Google Payへのチャージの取扱開始 (2020年3月)

ちくぎんマルチナVISAカードから、Google Payへチャージできるようになりました。

“Google Pay”はGoogle Asia Pacific Pte.Ltd.が提供するサービスであり、既にサービスを提供しているiOS端末(iPhone)の“Apple Pay”と同様にAndroid端末でもスマートフォンから、ちくぎんマルチナVISAカードでの決済が可能となります。



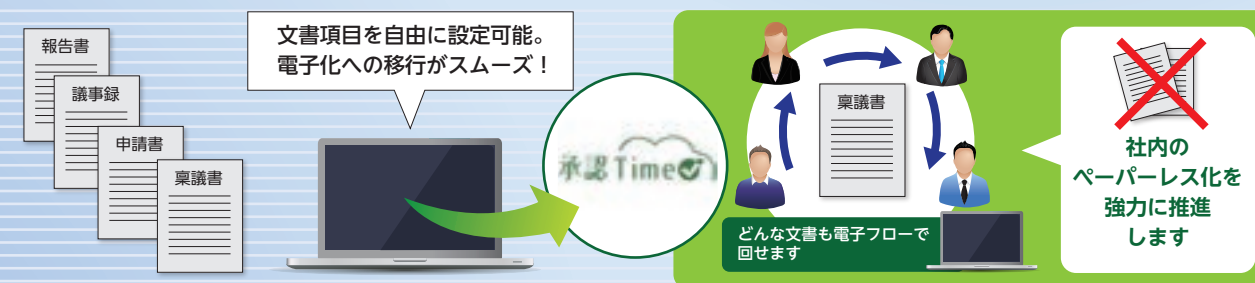
ちくぎんマルチナVISAカード



3社が業務提携 地域企業の業務を効率化！ (2020年3月)

当行グループ会社の株式会社ちくぎんテクノシステムズは、総合FinTechソリューション企業であるSBI FinTech Solutions株式会社の子会社で、バックオフィス支援サービスを提供するSBIビジネス・ソリューションズ株式会社および株式会社テクノ・カルチャー・システムと業務提携いたしました。

当行は本提携により地域企業のIT化や生産性向上等の支援の一環としてSBIビジネス・ソリューションズ株式会社が提供するクラウド型ワークフローシステム「承認Time」を活用したバックオフィス業務を支援してまいります。



2019年11月「西鉄縁線駅みやげ発掘プロジェクト（商談会）」を開催

地域に眠っている地域の食材を発掘し、西鉄ステーションサービスの運営するアンテナショップ『駅みやげ』にて販売することで、事業者さまの販売支援および地域の活性化を図っていかうという試みのもと開催されました。



35社参加のもと活発な商談が行われました。



2019年12月 アスタミューゼ株式会社との業務提携

当行の業務提携会社である株式会社アジア福岡パートナーズが、専門人材の採用を支援するアスタミューゼ株式会社と業務提携しました。当行は本提携を活用し、人材の採用支援を中心としたビジネスマッチングによって地域の活性化に貢献してまいります。



2020年3月 SBI損害保険株式会社のWEB完結型がん保険の取扱開始



「SBI損保のがん保険」は、公的保険診療の対象となるがん治療費の自己負担分に加えて先進医療および自由診療の対象となるがん治療費も実額補償する^(※)保険です。当行のWEBサイトを通じて保険のお見積りからご契約までWEBサイト上で完結できる仕組みとなっております。

（※一部例外となる場合があります。）

2020年4月 SBI レミット株式会社の国際送金サービス紹介業務の取扱開始



国際送金サービス事業を手がけるSBIレミット株式会社と業務提携契約を締結し、SBIレミットが提供する国際送金サービスの会員紹介業務を開始しました。SBIレミット会員紹介業務を行うことで東南アジアを中心とした外国人労働者の郷里送金ニーズにお応えしてまいります。

2020年4月 筑邦銀行SBIマネープラザ福岡オープン

当行とSBIマネープラザ株式会社による2店舗目の共同店舗「筑邦銀行SBIマネープラザ福岡」を出店いたしました。「筑邦銀行SBIマネープラザ久留米」と同様に、さまざまな金融商品・サービスをご利用いただけます。



2020年4月 大牟田支店、瀬高支店の店舗内ATM休日稼働開始

お客さまへのサービス向上の一環として、大牟田支店・瀬高支店の店舗内ATMについて、休日稼働を開始いたしました。

＜稼働時間＞ 平日 8：45～18：00（変更ありません）
休日 9：00～19：00

2020年4月 敷地内禁煙

受動喫煙防止による行員ならびに来店されるお客さまの健康の保持増進のため、また、あらゆる年齢の全ての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進することを目的として、屋外（敷地内）を含む全てのエリアを終日禁煙といたしました。

ダイバーシティへの取組み

当行は、行員のキャリアメークをバックアップし、一人ひとりの人間力の強化を推進しております。



キャリアデザイン研修を実施（2020年1月～2月）

キャリア後期を充実させるリーダーシップの活気を理解し、自分の強みを活かした組織への貢献と役割の拡大を考えるため、中堅の女性行員を対象に2日間にわたる「キャリアデザイン研修」を実施しました。



外部の専門講師を招いて



座学とロールプレイングによる研修

カリキュラムの概要

キャリア後期を充実させるリーダーシップを考える

自分の内面を知り自己基盤を強化する

働き方改革の本当の意味、ワークとライフについて考える

タイムマネジメント力を向上させる

アサーティブ・コミュニケーション能力の養成

長期的な視点から、自己の次のステージでのキャリアビジョンを明確にする

次世代育成支援対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」の策定（2020年4月）

当行は少子・高齢化が急速に進行するなか、次世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境をつくるために施行された次世代育成対策推進法による「一般事業主計画」を、2015年4月1日から2025年3月31日までの10年間策定しております。

このたび2015年4月1日からの5年間の行動計画期間が終了したことから、新たに2020年4月1日から2022年3月31日までの行動計画期間を策定いたしました。

当行は、役職員が仕事と子育てを両立させることができ、仕事と生活の調和がとれるよう、また役職員全員が働きやすい環境をつくることによって全ての役職員がその能力を十分に発揮できるよう本計画を遂行してまいります。



CSRへの取り組み

CSR私募債「ちくぎん地域応援私募債」に伴う寄付の贈呈

CSR私募債「ちくぎん地域応援私募債」は、お客さまの資金ニーズにお応えすると同時に、発行額の0.2%相当額（物品および金銭）を教育機関等に寄贈することで地域社会を応援する私募債です。



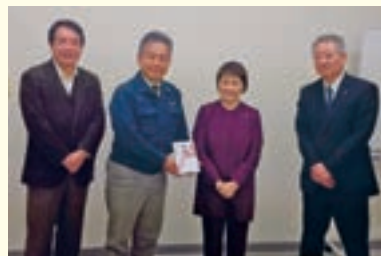
2019年11月

株式会社駅前不動産ホールディングス様との連名で、久留米市野球連盟様へ寄付



2019年12月

株式会社ホームラボ様との連名で、社会福祉法人青鳥福祉会 青い鳥保育園様へ寄付



2020年3月

株式会社東洋硬化様との連名で、SOS子どもの村JAPAN 子どもの村福岡様へ寄付



2020年3月

有限会社近藤工業様との連名で、柳川市へ寄付

青少年のスポーツ活動を支援

青少年の健全育成を願って、スポーツ活動の支援を行っております。

- ・筑邦銀行旗 久留米近圏学童軟式野球大会（2015年より）
- ・ちくぎん杯少年サッカー大会（1993年より）

献血活動

2012年の当行創立60周年記念事業プロジェクトを機に、社会貢献の一環として役職員の献血活動を継続して実施しております。

「久留米第九を歌う会」を支援

第1次世界大戦時、久留米市に収容されていたドイツ兵が久留米市民の前でベートーヴェンの「第九」を演奏して2019年で百年になるのを記念し、同年8月に久留米市民の手で「久留米第九を歌う会（会長：佐藤頭取）」の合唱団が結成されました。12月28日（土）には久留米シティプラザ ザ・グランドホールで合唱団と九州交響楽団による「久留米初演100周年記念演奏会 ベートーヴェン第九コンサート」が開催され、230名の団員が歌声を披露しました。

久留米初演100周年記念演奏会
ベートーヴェン第九コンサート



「久留米ちくご大歌舞伎」を支援

「久留米ちくご大歌舞伎（振興会会長：佐藤頭取）」は、地域文化の充実向上を図るため1970年に始まりました。小中学生からお年寄りまで幅広い年代が、勉強や仕事の合間を縫って稽古した成果を舞台上で披露します。当行は大切な地域の文化を守るため「久留米ちくご大歌舞伎」を支援いたしております。



久留米ちくご大歌舞伎

「小さな親切」運動の推進

1993年より「くるめ『小さな親切』運動の会」の事務局を本店ビル内に設置し、役職員が事務局長や各委員を務め「小さな親切」運動を推進しております。

2019年に実施した第26回「小さな親切」作文コンクールには、福岡県南地区の小中学校56校から、1,936編の応募をいただきました。

■ お客さまへの大切なお知らせ

このたび、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けられた皆さまには、謹んでお見舞い申し上げます。また罹患された方々、困難な状況にある方々の一日も早い回復を心よりお祈りしております。

当行は、感染症拡大により影響を受けられたお客さまからの様々なご相談に柔軟に対応するよう努めているほか、中小企業者さまへの資金繰り支援も行っております。

新型コロナウイルス感染症対応特別融資の取扱い (2020年3月)

お取扱期間2020年3月3日(火)
～2020年9月30日(水)(状況
を勘案し、延長等を検討します)



新型コロナウイルス感染症対応特別融資の概要

ご利用いただける方	新型コロナウイルス感染症拡大により直接的・間接的に影響を受けられた法人および個人事業主
資金使途	新型コロナウイルス感染症発生の影響による事業維持・継続に必要な資金
ご融資金額	定めなし
ご融資期間	10年以内(据置1年以内)
ご融資利率	当行所定の金利
ご返済方法	元金均等返済または元利均等返済
取扱店	全店

詳細につきましては筑邦銀行の各支店窓口までお問合せください。

新型コロナウイルスに関連する相談専用フリーダイヤル設置 (2020年3月)

今般の新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けられたお客さまのご融資、ローン等のご相談を、平日、当行本支店の窓口で受付けております。また、土日祝日にご利用いただける専用フリーダイヤルを設置いたしております。

お問合せ・ご相談窓口

(1) 営業店窓口
(平日9:00～15:00)

(2) フリーダイヤル 0120-20-7980
(土・日・祝日のみ 10:00～17:00)



新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けられた個人のお客さまへの ローン条件変更手数料の免除 (2020年4月受付分より)

対象となるお客さま	新型コロナウイルス感染症拡大により直接的・間接的に影響を受けられた個人のお客さま
免除する条件変更手数料	住宅ローン・不動産担保ローンの返済条件を変更 ^(※) する場合の条件変更手数料 (※)返済期限の延長、約定返済額の軽減、元金据置など
免除期間	2020年4月受付分より当面の間
取扱店	全店
お問合せ先	筑邦銀行事務部バックオフィスセンター (TEL: 0942-32-5461)

■ 役員／株式について

役員氏名

(2020年6月25日現在)

取締役頭取(代表取締役)	佐藤 清一郎	上席執行役員	大野 齊
取締役専務執行役員(代表取締役)	中野 慎介	執行役員	橋本 賢治
取締役常務執行役員	執行 謙二	執行役員	野口 光
取締役常務執行役員	鶴久 博幸	執行役員	西田 吉孝
取締役常務執行役員	金子 末見	※取締役 麻生渡、取締役 監査等委員 立花洋介、橋田紘一、永田見生は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。	
取締役上席執行役員	藤崎 勇一郎		
取締役	麻生 渡		
取締役 監査等委員	龍 憲一		
取締役 監査等委員	池部 晋		
取締役 監査等委員	立花 洋介		
取締役 監査等委員	橋田 紘一		
取締役 監査等委員	永田 見生		

株式のご案内

1.事業年度	毎年4月1日から翌年の3月31日まで	6.同連絡先	日本証券代行株式会社 代理人部 TEL 0120-707-843 (フリーダイヤル) 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部
2.期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日	(郵送先)	
3.中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日	7.上場証券取引所	証券会員制法人 福岡証券取引所
4.定時株主総会	毎決算日後3か月以内に開催	8.公告方法	電子公告 ただし、電子公告をすることができない場合は福岡市で発行する西日本新聞に掲載
5.株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	日本証券代行株式会社		

(ご案内)

- 配当金のお受取りは、当行本支店の預金口座振込をご指定いただきますと、早くて便利です。
- 株主様の住所変更、買取請求、配当金受取の振込指定その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(日本証券代行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、日本証券代行為口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(日本証券代行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、日本証券代行本支店でお支払いいたしますのでお申し出ください。

株主優待制度のご案内

「株主優待制度」は、株主の皆さまからの日頃のご支援・ご愛顧にお応えするとともに、当行株式への投資魅力を高め、より多くの方々に長期間保有していただくことを目的として実施しております。
所有株式数100株(1単元)以上保有する株主さまに対し、当行オリジナルQUOカード500円を贈呈し、さらに保有期間12ヶ月以上の株主さまには保有株式数に応じて、当行オリジナル株主優待カタログから地元(福岡県、鳥栖市、日田市など)の特産品等をお選びいただけます。

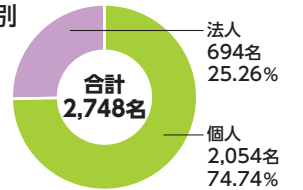


株式の状況

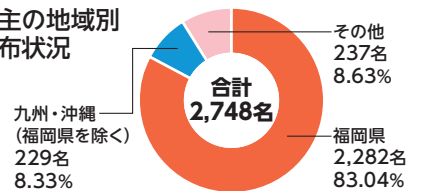
(2020年3月31日現在)

発行済株式の総数 6,249,020株
株主数 2,748名

▶ 株式の所有者別分布状況



▶ 株主の地域別分布状況

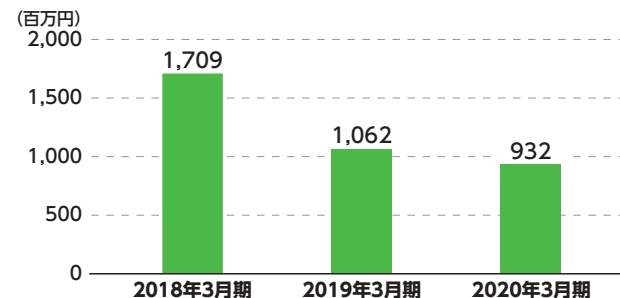


業績ハイライト

経常利益

経常利益は、営業経費や不良債権処理費用が減少したものの、株式等償却を計上したことなどから前期比1億29百万円減益の9億32百万円となりました。

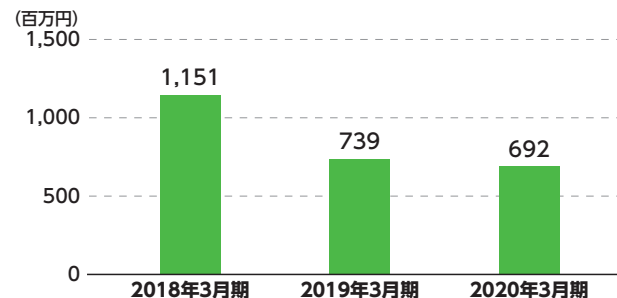
経常利益(単体)



当期純利益

当期純利益は、経常利益が減益となったことなどから、前期比46百万円減益の6億92百万円となりました。

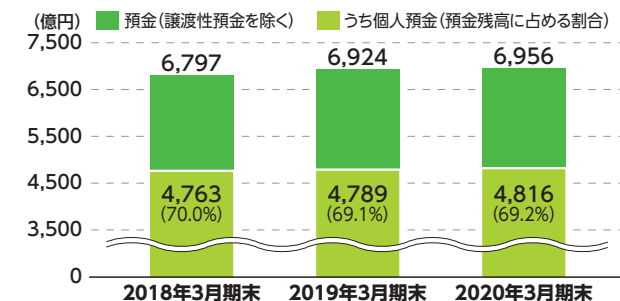
当期純利益(単体)



預金

預金は、資金調達のコアとなる個人預金が増加したことに加えて公金預金も増加したことから、前期末比32億円増加の6,956億円となりました。

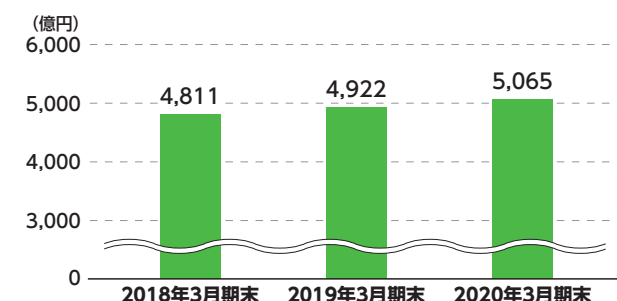
預金残高の推移(単体)



貸出金

貸出金は、地元の中小・中堅企業や個人事業主を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客様の資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めた結果、中小企業等向けなどの貸出金が増加したことなどから、前期末比143億円増加の5,065億円となりました。

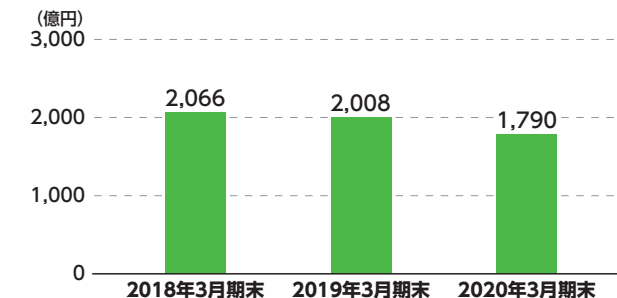
貸出金残高の推移(単体)



有価証券

有価証券は、短期から長期までの国債金利がマイナスとなっている投資環境が続いており、国債や地方債が減少したことなどから、前期末比217億円減少の1,790億円となりました。

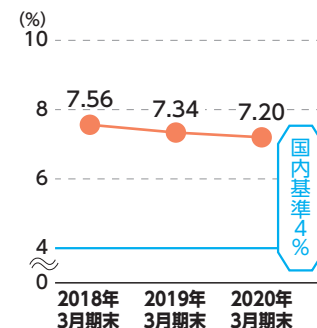
有価証券残高の推移(単体)



自己資本比率

7.20% 国内基準(4%以上)を大きく上回っています。

自己資本比率(単体)



2020年3月期末の自己資本比率は、前期末比0.14ポイント低下の7.20%となり、最低所要自己資本比率(国内基準)の4%を十分に上回る水準を維持しています。また、資本金や利益剰余金などの普通株式に係る株主資本の額が自己資本の額の

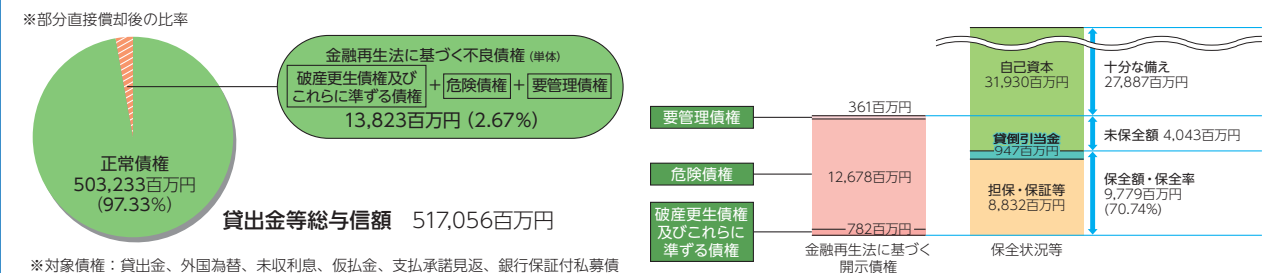
ほとんどを占めており、質の高さを維持しています。

不良債権比率 2.67% ※

金融再生法に基づく貸出金等の総与信額5,170億56百万円のうち回収に懸念のない正常債権は5,032億33百万円で総与信額の97.33%を占めております。

一方、不良債権は138億23百万円(総与信の2.67%)となり、前年同期末の127億14百万円(総与信の2.53%)と比べて11億9百万円増加しました。

また、この不良債権の70.74%(97億79百万円)は、担保・保証等や引当金で保全されています。

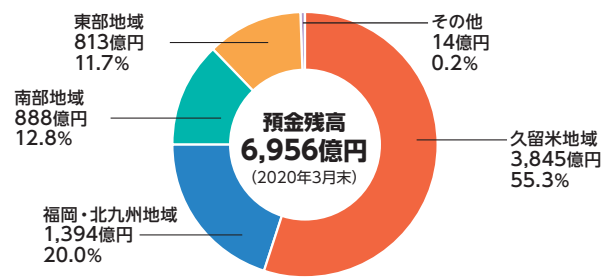


業績ハイライト

皆さまとのお取引状況<預金・預り資産>

地域別預金残高、構成比率

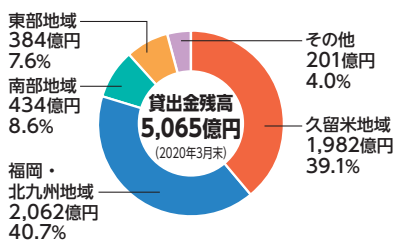
当行は、地域に根差した金融機関として、設立以来地域の皆さまからのご信頼をいただき、預金は順調に増加しております。今後もお客様のニーズに対応した魅力ある金融商品の提供に努めてまいります。



皆さまとのお取引状況<融資>

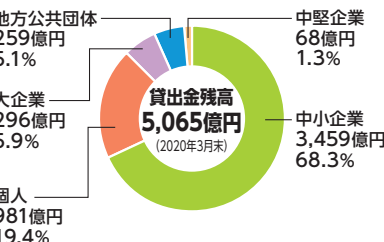
地域別貸出金残高、構成比率

当行が地域のお客様からお預かりした大切な預金は、そのほとんどを地域の企業や個人の方への貸出に向けており、「地域の資金は地域のために」という当行設立の趣旨を堅持し、地域金融機関の使命を果たしております。



中小企業等貸出金残高、構成比率

当行は創業時より地域の中小企業や個人の方を中心に貸出を行っております。今後もお客様のニーズを的確につかみ、必要とされる資金・金融サービス・各種金融情報をタイムリーに提供してまいります。

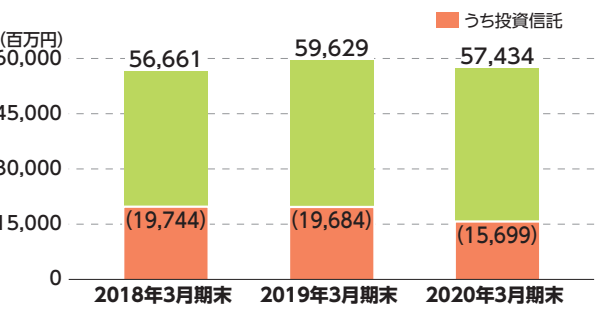


個人預り資産残高

当行は、お客様の多様化する資金運用ニーズにお応えする投資信託や国債等を取扱っております。個人預り資産は、前期末比21億94百万円減少して574億34百万円となりました。

※個人預り資産＝投資信託、生命保険、外貨預金、公共債の合計

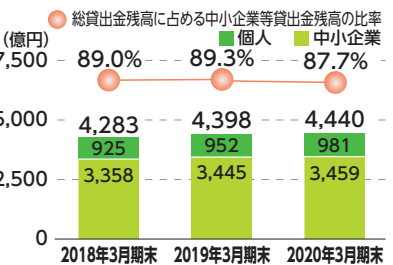
個人預り資産残高の推移



中小企業等貸出金残高、比率の推移

中小企業および個人の方に対する貸出金の残高は、前期末比42億円増加し、4,440億円となりました。総貸出金に占める中小企業等貸出金残高の割合は、87.7%（中小企業68.3%、個人19.4%）と引き続き高い割合を維持しております。

中小企業等貸出金残高、比率の推移



財務のご報告（単体）

第96期末 貸借対照表 (単位：百万円)

(2020年3月31日現在)	
科目	金額
(資産の部)	
現金預け金	65,034
買入金銭債権	451
商品有価証券	43
有価証券	179,047
貸出金	506,565
外国為替	1,303
その他資産	4,731
有形固定資産	8,473
無形固定資産	161
前払年金費用	472
繰延税金資産	964
支払承諾見返	9,359
貸倒引当金	△1,782
資産の部合計	774,828
(負債の部)	
預金	695,655
譲渡性預金	9,861
借入金	28,000
外国為替	1
その他負債	2,104
退職給付引当金	371
偶発損失引当金	138
再評価に係る繰延税金負債	971
支払承諾	9,359
負債の部合計	746,464
(純資産の部)	
資本金	8,000
資本剰余金	5,759
利益剰余金	17,524
自己株式	△290
株主資本合計	30,993
土地再評価差額金	△4,578
土地再評価差額金	1,775
評価・換算差額等合計	△2,802
新株予約権	173
純資産の部合計	28,363
負債及び純資産の部合計	774,828

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第96期 株主資本等変動計算書 (単位：百万円)

	株 主 資 本								評価・換算差額等				株 純 資 産 約 合 計	株 純 資 産 約 合 計
	資 本 金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計		
	資 本 金	資本準備金	資本剰余金	利益剰余金	利益剰余金別途積立金	利益剰余金	利益剰余金合計							
当期首残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	6,897	17,022	△365	30,416	3,347	1,898	5,246	202	35,865
当期変動額														
剰余金の配当						△305	△305		△305					△305
当期純利益						692	692		692					692
自己株式の取得								△1	△1					△1
自己株式の処分						△7	△7	75	68					68
土地再評価差額金の取崩						122	122		122					122
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										△7,926	△122	△8,049	△29	△8,078
当期変動額合計	—	—	—	—	—	502	502	74	576	△7,926	△122	△8,049	△29	△7,501
当期末残高	8,000	5,759	5,759	2,724	7,400	7,399	17,524	△290	30,993	△4,578	1,775	△2,802	173	28,363

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

表紙について (つづら棚田：福岡県うきは市)



うきは市新川・葛籠(つづら)地区の山あいの斜面には、面積7ha、約300枚の、精巧に石で積まれた階段状の棚田があります。山の石を使い、丁寧に積み重ねられた石組みの多くは約400年前のものです。日当たりの良いところを農地にし、米作りを優先させたこの地域の家並みは、周りの山林の緑、森から湧き出る清水、青い空の景色と見事に調和し美しい農村景観をつくり出しています。平成11年(1999年)には、農水省の「日本棚田百選」に選ばれました。



秋には彼岸花の赤、稲穂の黄、山の緑という色彩を楽しむことができます。



棚田を守る石積み

福岡県うきは市浮羽町新川 (大分自動車道杷木ICより車で約25分・駐車場あり)

写真出所 一般社団法人うきは観光みらいづくり公社



あなたのまちの
筑邦銀行

筑邦銀行企画本部企画グループ広報チーム
〒830-0037 久留米市諏訪野町2456-1
TEL (0942) 32-5331 (代)
<https://www.chikugin.co.jp/>

株式会社 筑邦銀行 登録金融機関 福岡財務支局長(登金)第5号
加入協会 日本証券業協会

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

